

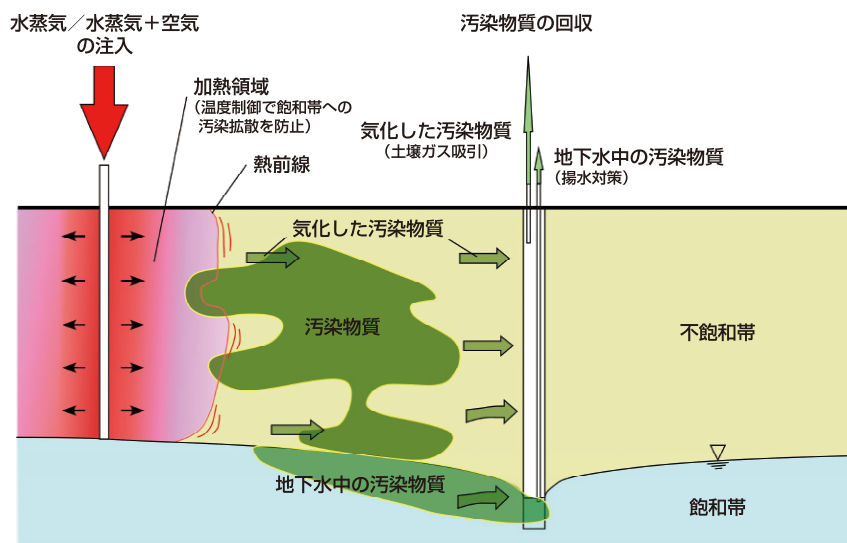
TSVE工法 加熱土壌ガス吸引法

(Thermally Enhanced Soil Vapour Extraction)

TSVE工法は、独シュツットガルト大学水利工学教室の附属研究施設VEGASで研究・開発されたVOC・石油系物質を対象とした原位置浄化技術です(特許第3810783号)。
(当社は日本国内での独占的かつ無制限の利用権を取得しています。)

TSVE工法の特徴

- 加熱した空気/水蒸気を地盤内に注入し、**汚染物質を気化させて迅速に回収**
- 従来の土壌ガス吸引法の問題点であった長い**浄化期間を大幅に短縮**し、**浄化効率を高め、トータルコストの削減**が可能
- 水蒸気と空気を混合して温度調整することで、汚染物質の大部分を気体として回収(**液化による汚染拡散の防止**)
- 従来の土壌ガス吸引法では浄化困難であった**シルトにも対応可能**



工法の概要



注入設備



水蒸気の吐出状況

- 浄化対象物質
 - ・ VOC(揮発性有機化合物)
 - ・ 石油系物質(炭素数20未満、ガソリン・灯油など)
- 適用地盤
 - ・ シルト～砂
 - ・ 不飽和帯&飽和帯

お問合せ: アジア航測株式会社 土壌・水環境事業部 TEL: 044-967-6290 E-mail: info@ajiko.co.jp

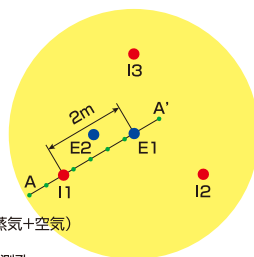
TSVE工法 加熱土壌ガス吸引法

(Thermally Enhanced Soil Vapour Extraction)

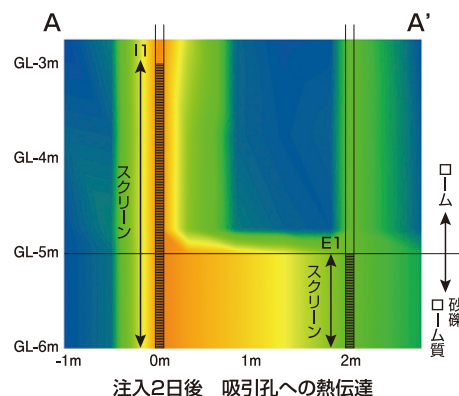


吸引設備

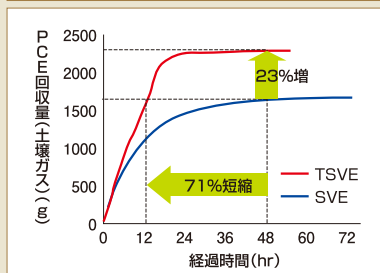
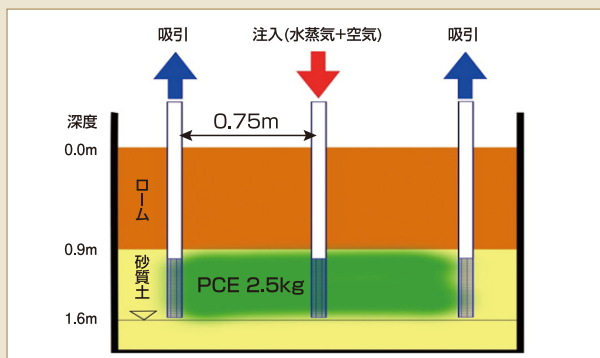
実地盤の加熱試験



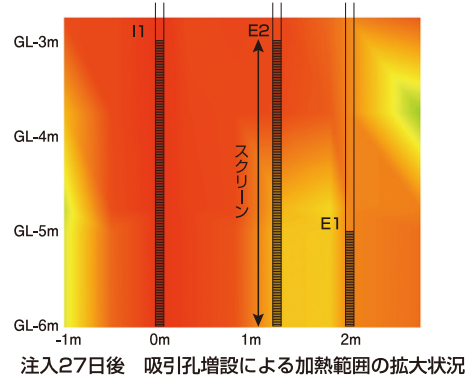
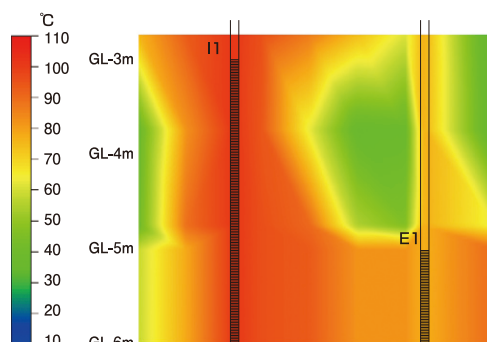
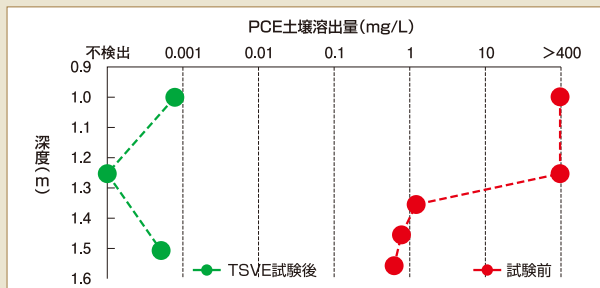
試験井戸 配置図



模擬汚染土の浄化試験



土壌ガス吸引法(SVE)と比較して、短期間で高い汚染物質の回収能力があることを確認しました(48時間経過時)。



実地盤の加熱状況

I1:注入、E1・E2:吸引

2007年10月～2008年5月に日本国土開発(株)と共同で注入・吸引設備の製作、国内実証試験(実地盤・模擬汚染土)をおこない、実用化を可能にしました。

お問合せ: アジア航測株式会社 土壌・水環境事業部 TEL: 044-967-6290 E-mail: info@ajiko.co.jp